



広報

# なかぐすく

Nakagusuku



URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

No. 110  
2001.9.20



俺だけ  
あっち向いてホイ!

# 旧盆の伝統行事が催される

## 北浜のウンケーシマ



旧盆初日の8月31日（旧暦7月13日）ウンケーの日。北浜では、ウンケーシマが行われた。中城村では北浜だけが行っている。仲宗根自治会長の話によると、60年以上も前から行われているという。各家庭でウンケーの儀式を済ませ、午後8時頃からぞくぞく区民が公民館前の広場に集まってくる。対戦は、小学生から始まり中学生、高校生、そしてよいよ青年の出番である。北浜は以前、屋取集落であった。そのため伝統的な行事がなかった。区民の融和を求めて始めたのがきっかけで、今では立派な北浜の伝統行事として、また年に一度の力勝負として残っている。戦後は、優勝の景品として米国製のタバコ1ボールという時代もあったそうである。見物人も多く、親子での対戦や兄弟での対戦になると、観衆は大いに盛り上がったそうである。

## 津覇エイサー



旧盆に演じられる沖縄の伝統芸能「エイサー」。  
津覇エイサーは9月3日、第三十三回津覇エイサーの夕べとして行われました。  
大太鼓、しめ太鼓、女性の踊り手のほか、今年は二人のちびっこが参加し会場を盛り上げた。



## 当間の綱引き

明治十六年、中城殿内の奉公人であった当間区の比嘉喜保さんが、首里の綾門大綱（アイジヨーウンナ）を習って催されるようになったという当間の綱引きが、旧暦の七月十六日、当間公民館前で行われた。午後五時、山田殿で祈願祭を行った後、「和氣」、「清風」の一番旗の旗頭をもって道ジユネーをしながら公民館に集まった。午後八時、ガーイーが最高に盛り上がったころ、上組、下組が歩み寄り、綱を持ったまま貫木棒が貫かれ綱が引かれた。



毎年旧暦の一月二日、七月十六日、八月十五日に集落の拜所「火の神殿地」で奉納として演じられる津覇の獅子舞。旧暦の七月十六日は、拜所で祈願したあと「第三十三回津覇エイサーの夕べ」の特設ステージで演じられた。津覇の獅子舞は、一頭の獅子でオスとメスの両方を踊りわけるのが特徴である。津覇の獅子舞保存会は、今年、獅子を新調した。これまでの獅子を子供獅子舞として活用し、中学生にも獅子舞の指導を行っており、着実に伝統文化の継承が図られている。

## 津覇の獅子舞



# 2001 第3回 世界のウチナーンチュ大会開催!!

2001.11/1(木)▶4(日)

※中城村では歓迎交流会を開催します。第3回世界のウチナーンチュ大会に参加する中城村関係者に関する情報をお寄せください。



島で逢うよろこび。

おおいに盛り上がった前回大会から6年、世界で活躍するウチナーンチュがふるさと沖縄に集まり県民との交流を深める「世界のウチナーンチュ大会」サミットで注目を集めた沖縄に、再び県内外から熱い視線が注がれます。

主な会場 県立武道館、奥武山総合運動公園、沖縄コンベンションセンター  
主催 沖縄県・(財)沖縄県国際交流・人材育成財団、(財)沖縄観光コンベンションビューロー

第3回世界のウチナーンチュ大会 開催 2001年11月1日(木)~4日(日)  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会事務局  
TEL(098)866-2501(代) FAX(098)866-2848 ホームページ:http://www.wuf3.com/



今年もやってきました。

## 海外移住者子弟研修生

第六期生となる平成十三年度中城村海外移住者子弟研修生が九月五日来沖した。今年度の研修生は、ナカマツヤスカズリカルドさん(ブラジル 北浜出身)、アラキノエミビクトリアさん(アルゼンチン 和宇慶出身)、ナカマツニウダナオエさん(ペルー 北浜出身)の三名。研修生は十二月四日までの三ヶ月間、日本語やコンピューターなどの研修や沖縄の伝統文化の研修も予定しています。

九月六日、表敬訪問を受けた新垣村長は「みなさんには沖縄の血が受け継がれています。研修した成果を持って帰ることが何よりも喜びである。三ヶ月間元気に研修してください」と激励。

中城村(北中城村を含む)は戦前戦後を通じ沖縄県でも有数の移民送出母村として知られ、南米を始めハワイなどに多くの移民を送り出しています。海外へ雄飛した移民者は多くの困難を乗り越え、郷里発展のため海外から送金を行うなど、今日の沖縄県発展に大きく貢献しました。

その先人達のご苦労に対し、敬意と感謝の気持ちを込め、平成八年度より海外移住者子弟研修生受入事業を実施している。



那覇空港に到着した研修生と受入家庭のみなさん。

## 第3回世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会

2001.11.5(月)

★午後2時から中城城跡などを視察  
★午後5時から歓迎交流会

吉の浦会館大ホール

中城村役場 企画課 895-2131(301)

中城村役場 企画課

895-2131

# 少年の主張

日常生活を通じ、日頃考えていることを広く社会に訴えようと中城村青少年育成村民会議主催の第二回「少年の主張大会」が開催されました。今年度の主張大会には、中城中学校の生徒九名が家庭や学校生活について意見を述べ、二年生の安里由香利さんが「私の将来」と題し、優秀賞に輝きました。



「お母さん、おもちゃのピアノを買ってよ」それが、私とピアノとの最初の出会いでした。そのころ私は四才で、母は、「すぐにまた別のおもちゃを欲しがらるろう」と思い、私に「次、来る時に買ってあげるね」といつか買わなかったそうです。

ところが、数日後、家族とレストランに行ったときのことです。そこでは、ピアノの生演奏がくりひろげられていて、四才の私はピアノの前に、何に引かれたか分かりませんが、ピアノの前に何時間も座って、ピアノのとりこになっていました。

## 私の将来

安里由香利

「本当にピアノが好きなのね」と思っている、本物のピアノをプレゼントしてくれて、五才の時に、ヤマハ音楽教室に通うようになりました。通い始めた私は、週に一回ある音楽教室に行くのが待ち遠しくて、家で何度も練習をしていたそうです。でも二年、三年とたっていくうちに、どんどんレベルアップしてきて、ついにはもう、週に一回楽しみにしていたピアノも、私はなげだしたい気持ちの方が大きくなっていきました。

なり、少しずつ理解し、また先生もレッスンの終わった後、十五分間私にいろんなコツを教えてくださいました。今思えばあの時、母が強く言ってくれなかったらたぶん自分が好きで始めたピアノを、ついにやめていたと思います。ピアノを初めて十年間、いろいろな難しく大きな壁に何度もぶつかってききました。ですが自分自身の夢、目標があったからこそ難関も努力してうまく乗り越えることができました。

私は将来、幅広い作曲家になりたいと思っています。世の中に自分の曲がいつでも流れていて、すばらしい曲をたくさん生み出して、誰にでも知られる有名作曲家を目指したいです。そのためにも、今までの努力と技術が求められ、いろいろな難関にぶつかるとしても、十年間培った根気強さ、そして何より私をここまで導いてくださった母、先生、音楽仲間達との出会いは、励みとなり大きな力になってくれるでしょう。今までやってきた成果を最大限に生かし、目標に向かって頑張ります。

# さよならケリー先生 ようこそオリバー先生

## 児童交流会

千葉県飯岡町と

## 大人も守って

シンデレラタイム 深夜はいかい防止村長会

七月十日に、A.L.T(外国語指導助手)ケリー先生の送別会が行われた。これまでの二年間、中城村の行事や学校の行事に積極的に参加し国際交流を図った。特に平成十二年十一月に行われた「アカバナ祭」においては、中城城跡の調査、測量にやってきましたペリー提督一行の英語劇の場面で、翻訳や子どもたちに英会話の指導と大いに活躍してもらった。

八月八日、新しく中城中学校にA.L.Tとして務めるオリバー先生を那覇空港で出迎えた。イギリス出身でどこかジェームズディーンに似た笑顔が素敵な青年である。さっそく吉の浦会館において辞令の交付をし、オリエンテーションを行った。

見聞することにより、二十一世紀を担う豊かな人材を育成しようと、中城村は千葉県飯岡町と児童交流を行っている。今回で四回目を数える中城村での交流会が、八月八日、吉の浦会館で行われました。

県民の共通の願いである「二十一世紀を担う青少年の健全育成」。その次代を担う青少年に自覚と目的意識を持たせ、規律正しい生活態度を身につけることを大人が総力をあげ支援しようと、中城村青少年健全育成村民会議(新垣清徳議長)の主催による「青少年深夜はいかい防止村民大会」が七月十八日、吉の浦会館で行われました。

八月三日には、両親と共に教育長表敬訪問という事で、これまでの二年間の報告を行った。また、琉球舞踊が大好きだったということで、沖縄に来てさっそく琉舞に打ち込み、「かせかけ」

沖縄に来ての感想は、第一声「暑いですね」。イギリスの今ごろの気温は二十五度ぐらいとすごしやすいそうです。また、海が大好きで「ぜひ、沖縄の美しい海で泳ぎたい」、「スキューバダイビングをしたい」と目を輝かせていた。パソコンも手のもので、国際運転免許の手續きをインターネットで済ませていた。

児童たちは、手作りの名刺を交換したり、絵やパソコンを使って、それぞれの学校を紹介。ふれあいタイムでは、琉球舞踊や護佐丸太鼓の演舞などを鑑賞した。

沖縄県知事からのメッセージ伝達の後、津覇小学校、中城小学校、中城中学校、北中城高等学校、父母代表が意見発表を行いました。

「上り口説」の部門で新人賞にも輝いた。すっかりやり遂げたという満足感に満ちあふれていた。

交流団長を務める神原庄一飯岡町教育長は「子どもたちは夢と希望を胸に膨らませやってきました。友好と親善を図り、平和の尊さをしっかりと学んで帰りたい」とあいさつ。

中城中学校の沖吉献君は「親は自分の子供の行動をきちんと確認して」と話し、北中城高等学校の大城梓さんは「仕事を理由に夜遅くまで出歩いている大人には、子供の指導はできません。大人もシンデレラタイムを守るべきだ」と訴えました。



2年間お世話になったケリー先生(右から2番目)と新しく着任するオリバー先生(左から2番目)

中城村教育委員会

指導主事 真栄城 隆



交流会を盛り上げた護佐丸太鼓のみなさん



「大人もシンデレラタイムを守るべきだ」と大城梓さん

# ゴミ処理施設「青葉苑」改築計画

中城村・北中城村清掃事務組合  
管理者(中城村長)新垣清徳

## ゴミ処理施設建設費に60億円もかかります

ゴミ処理施設の建設は、右の「経緯」を見てもお分かりのように、平成6年～7年頃の計画では24億～32億円を試算しておりました。

しかしダイオキシン問題が出てから、燃やし方や燃えカス(残さ)の始末、リサイクル施設の設置や解体費が高つくなど、莫大な建設費を要するようになりました。(資金計画参照)

## 「青葉苑」の改築計画

- 建設事業費 6,036,249千円
- 処理能力 20ト×2炉=40ト/1日
- 事業期間 平成11年～平成14年  
(平成15年稼働)
- 建設場所 現・青葉苑施設跡

- ・青葉苑は建築後22年が経過し、老朽化が著しく進んでいます。
- ・平成14年12月1日からダイオキシン規制がさらに厳しくなります。
- ・青葉苑の改築計画は平成3年から始められており、今年で11年目になります。
- ・青葉苑の改築は、ダイオキシン対策の為の緊急で、やむをえない改築であります。

## 米軍一般家庭ゴミ受け入れは、 やむを得ざる処置

ゴミ処理場「青葉苑」の改築に必要な60億円の事業費を工面するために、厚生省補助(1/2補助)では両村の財政負担が大きすぎることから、やむを得ずキャンプズケランの一般家庭ゴミの受け入れという苦渋の選択をさせていただきました。

防衛施設庁補助(2/3補助)は厚生省補助に比べて、10億円以上も財政負担が軽くなるからであります。

また、補助対象の枠も防衛施設庁のほうが有利であります。

## 地域住民の生活環境への配慮

ゴミ処理施設は、住民の毎日の生活に直接つながるきわめて公益性が高く、無くてはならない施設であります。

そのため地域の環境保全や整備については、行政はもとより両村民みんなの問題として考える必要があると思います。

ゴミ処理施設「青葉苑」の改築と地域住民の生活環境に配慮した施策の推進は、行政の最重要課題として取り組んで参りますので、村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 資金計画 (単位:千円)

1.建設工事費	5,880,000
①実施設計	133,266
②敷地造成工事(解体含む)	463,050
③焼却施設	3,872,190
④リサイクル施設	1,180,704
⑤附帯設備	230,790
2.委託費	72,975
3.地方事務費	12,633
4.生活環境調査費等	70,641
計	6,036,249

## 事業費の財源内訳 (単位:千円)

●防衛施設庁補助金	3,951,962
●地方債	1,858,300
●一般財源	225,987
計	6,036,249

※なお、地方債や一般財源などの地元負担に対する財政支援として約15億円の特別交付税や普通交付税としての後年度財政支援措置が講じられることとなります。

## 建設計画の流れ (経緯)

- 現在の青葉苑は、昭和五十四年に建てられ、築後二十二年が経過しており、老朽化が著しく、平成三年度から建設計画が進められ、今年で十一年目になります。
  - 当初、建設年度を平成九年度から十年度をめどに、平成二十年度の両村の人口を三五〇〇〇人と想定して、一日のゴミの処理量四十ト、建設費二十四億円で建設を計画。
  - 平成六年度に、「一般廃棄物処理基本計画」を策定、平成八年三月「ゴミ処理施設基本計画書」を策定、建設年度を平成十一年～十二年に変更、施設規模四十ト、事業費三十二億円で、現施設跡に建設することを計画。
  - 平成八年十月のダイオキシン測定の結果、青葉苑から八十七ナノグラム(基準値八十)が検出され、施設の改造や燃焼管理の適正化など、早急な対策をとるよう求められた。
  - 平成九年新ガイドライン発表、建設年度を平成十三年度～十四年度、事業費はダイオキシン対策等も含めて六十億円以上にはね上がるなど、建設計画の見直しを迫られる。
  - 建設費については、平成五年度から積立基金を創設し、積立を始めたが、積立目標額の五十%以下という苦しい財政難に加えて、六十億円をこえる莫大な建設費の捻出に苦慮し、防衛庁や防衛施設庁との度重なる要請の末、高い補助率の財政支援を受けるため、やむなくキャンプズケラン(北中城村域内の米軍一般家庭)のゴミを処理する(有料)ことを受け入れざるをえない状況となる。
  - 平成十年防衛施設庁へ施設建設費の予算計上を要請。
  - 平成十一年～十二年、地権者・地域住民・住民代表・議会議員を対象に十回に亘り説明会や話し合いを行う。
  - 平成十二年十一月、ゴミの五種分別収集開始、青葉苑焼却炉停止、東部清掃施設組合へ委託処理。
  - 平成十三年七月青葉苑解体工事着手、平成十五年稼働を目指し、建設を推進する。
- ※中城村・北中城村のゴミは、平成十五年三月までの契約のもとに、与那原町の東部清掃施設組合で処理されており、平成十五年四月からは青葉苑で処理することになります。なお両村のし尿処理は北中城村字渡口にあるし尿処理場「青海苑」で処理されております。

おさらい

いつまでも安心して暮らすためのしくみです

# 介護保険

●40歳からみんなが加入。加入者（被保険者）は2つに分かれます。

## 65歳以上の方は『第1号被保険者』

介護が必要になった方が市町村から「要介護認定」を受ければサービスを利用できます。

市町村がどれくらいの介護サービスが必要かなどによって、保険料の「基準額」が決まります。その「基準額」をもとに負担が重くなり過ぎないように所得によって1～5段階に調整され、老齢年金等から差し引きます。



## 40歳～64歳の方は『第2号被保険者』

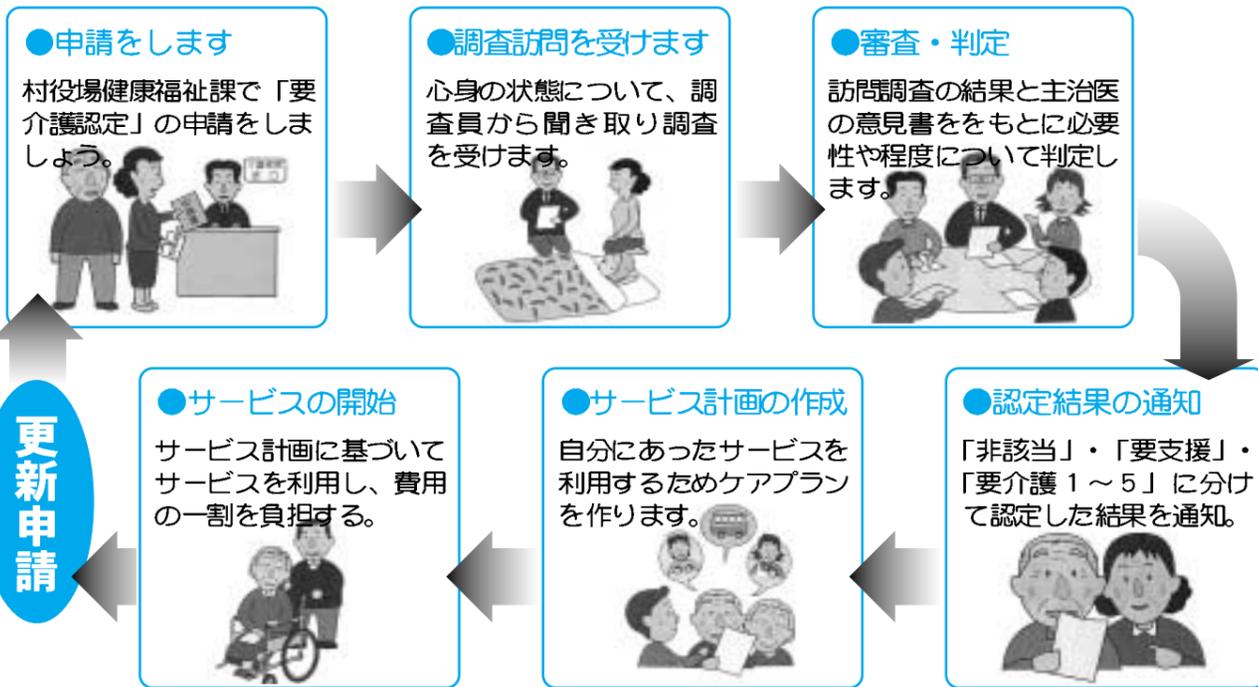
介護保険で対象となる病気（特定疾病）が原因で介護が必要になった方が「要介護認定」を受ければサービスが利用できます。

加入している医療保険制度（国保など）の算定方法により決定し、医療保険の保険料に介護分も合わせて納めます。

介護サービスを利用できるのは……

保険料の決定と納付方法は……

●「要介護認定」を受けてからサービスを利用しよう。



平成13年10月から  
65歳以上の方の介護保険料が  
本来の保険料額(全額)になります。



平成12年度		平成13年度		平成14年度	
保険料徴収なし	半額	半額	全額	全額	全額
4月	10月	4月	10月	4月	10月

**介護保険制度が必要なワケ!**

わたしたちはいま高齢化社会の中にあり、二十一世紀半ばには三人に一人が高齢者という時代を迎えようとしています。

寝たきりや痴呆の高齢者が増える一方で、介護する人も高齢になり、また働きに出る女性も増えるなど家族だけで介護することは難しくなっています。

介護を必要とする状態になっても、自立した生活ができるよう、高齢者の介護を社会全体で支える「介護保険制度」が生まれました。

**保険料が本来の保険料に変わります。**

平成十三年十月から、これまで半額に軽減されていた保険料は、国による「特別対策」が九月をもって終了するため、本来の保険料額（全額負担）となり、皆様にはご負担をお願いすることとなります。

介護保険は、社会全体で介護の負担を支え合う制度です。誰もが安心してサービスを受けられるよう、保険料の納期内納付にご協力をお願いいたします。

65歳以上のみなさまへ



1 8月15日 月 仏滅		22 9月6日 月 友引	奥 間ふれあい事業 北 上原ふれあい事業
2 8月16日 火 大安	健康相談日[午前9時～11時] 役場	23 9月7日 火 先負	カジマヤー祝 健康相談日[午前9時～11時] 役場
3 8月17日 水 赤口	リハビリ教室 福月交流会 (吉の浦公園) [午後5時～8時] エアロビクス教室 (教育委員会)	24 9月8日 水 仏滅	リハビリ教室 (吉の浦会館) [午後1時30分～4時] エアロビクス教室 (教育委員会)
4 8月18日 木 先勝	3歳児健診 (吉の浦会館) H10.2.3生～H10.4.4生 [受付: 午後1時30分～2時30分]	25 9月9日 木 大安	
5 8月19日 金 友引	地区陸上競技大会 (中学校)	26 9月10日 金 赤口	
6 8月20日 土 先負	乳児一般健診 (老人福祉センター) H13.4.15日生～H13.7.6日生 [受付: 午後1時～1時30分] H12.11.15日生～H13.2.6日生 [受付: 午後2時～2時30分]	27 9月11日 土 先勝	
7 8月21日 日 仏滅	運動会 (津覇小・中城小)	28 9月12日 日 友引	
8 8月22日 月 大安	体育の日	29 9月13日 月 先負	
9 8月23日 火 赤口	健康相談日[午前9時～11時] 役場 南 上原ふれあい事業 浜  ふれあい事業	30 9月14日 火 仏滅	健康相談日[午前9時～11時] 役場
10 8月24日 水 先勝	校内意見発表会 (中学校) エアロビクス教室 (教育委員会)	31 9月15日 水 大安	エアロビクス教室 (教育委員会)
11 8月25日 木 友引	内科健診 (吉の浦会館) H11.10.12日生～H11.12.20日生 [受付: 午後1時～1時30分] H11.4.10日生～H11.6.11日生 [受付: 午後1時～1時30分] H9.4.10日生～H9.6.11日生 [受付: 午後2時30分～3時]	1 9月16日 木 赤口	
12 8月26日 金 先負		2 9月17日 金 先勝	
13 8月27日 土 仏滅		3 9月18日 土 友引	文化の日
14 8月28日 日 大安	宜野湾地区防犯協会少年野球大会	4 9月19日 日 先負	老・婦合同運動会 (吉の浦公園) 自然体験学習「じゃがいも」の植え付け (村子連)
15 8月29日 月 赤口		5 9月20日 月 仏滅	世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会 (吉の浦公園)
16 8月30日 火 先勝	健康相談日[午前9時～11時] 役場	6 9月21日 火 大安	ポリオ予防接種 (吉の浦会館) 3ヶ月～18ヶ月児 [受付: 午後1時～1時30分] 健康相談日[午前9時～11時] 役場
17 9月1日 水 先負	エアロビクス教室 (教育委員会)	7 9月22日 水 赤口	エアロビクス教室 (教育委員会)
18 9月2日 木 仏滅	精神保健デイケア (がじめまる会)	9 9月23日 木 先勝	リハビリ教室 (吉の浦会館) [午後1時30分～4時]
19 9月3日 金 大安		9 9月24日 金 友引	
20 9月4日 土 赤口	童話・お話・意見発表会 (村P連)	10 9月25日 土 先負	
21 9月5日 日 先勝	当間ふれあい事業 中城郡陸上競技大会	11 9月26日 日 仏滅	

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

中城村の人口

平成13年8月末現在

人口 14,793 (2)  
男 7,595 (5)  
女 7,198 (-3)  
世帯数 4,811 (6)

※( )内は前月との比較

生ゴミ処理容器等購入者に補助金を交付

中城村では、家庭から排出されるゴミの減量化を図るため生ゴミ処理容器や生ゴミ処理機の購入費用に対し、予算の範囲内において補助金(購入価格の2分の1で最高2万円)を交付します。

【お問い合わせ】

中城村役場 住民生活課 895-2131 (220)



平成13年度の平和推進特使の玉城さん、金城さん、新垣さんの三人 (左から)

平和を学ぶ

中城村は、長崎県で開催された「非核宣言自治体全国大会と平和学習フィールドワーク」に村内の小中学生三名を平和推進特使として任命し派遣した。今年度、平和推進特使として任命されたのは、中城小学校六年の玉城美佐子さん、津覇小学校六年の金城李衣子さん、中城中学校三年の新垣亜依さん。任命式で新垣村長は、「三校の代表として戦争の被害や怖さを追体験し、平和を伝えるリーダーとして頑張ってください」と激励した。

また仲座塾助教育長は、「津覇小一年生の時、対馬丸と船団を組んでいた船に乗っていた。運よく命拾いをした。みなさんも間接的ではあるが戦争について勉強してください」と話した。

三名は、戦争の悲惨さを肌身で感じ、平和の大切さを後世に伝え、平和に対する意識の高揚と平和推進の先導的な役割を果たすことが期待される。

平和学習フィールドワークを通して学んだ事

中城中学校三年 新垣 亜依

七月二六日から七月二九日の四日間、私は長崎でとても貴重な体験をしました。

それは、原爆でとても大きな被害を受けた長崎市での平和学習です。その平和学習では原爆資料館の見学。そこには、原爆の被害のようすを写した写真、被爆者の遺品などがたくさんありました。それを見て私は、胸を突きさされたような気持ちになりました。ガラスが溶ける温度は千五百度。しかし、爆心地は、ガラスの溶ける温度を上回る四千度もあって、落下部分から半径四キロメートル以内の家が、人が、動物が目をまばたきするちょっとしたあいだに一瞬にして焼けていったそうです。手の骨とガラスがくっついていものがありません。それを見て、いかにその当時の悲惨さを物語っているのかが伝わってきました。写真がありました。小学生ぐらいの子がうつぶせになっていました。その子の背中は熱線を受けた火傷によって表面の皮膚は焼けただれて、ズルズルとはがれ落ち皮膚の下肉まで外へはみ出していました。私は、これが生きた人間の体なのか?と思わず目をつたがってしまいました。熱線に

よる火傷の苦しみは、それだけでは終わらず、顔や腕、足などの痛みにかゆみが重なり四ヶ月頃から、ケロイドが始め、六ヶ月から一年二ヶ月後に傷の痛みがひどくなるそうです。ケロイドとは皮膚がひきつたり、かたくこわばり、もり上がった状態になること。

被爆地めぐりがありました。原爆落下中心碑。そこに私は立ち、永久の平和を願いました。被爆者吉田さんが言っていた言葉があります。

「『平和』という言葉をお土産に持って帰らないね」

それを聞いた時に、私は改めて、平和の尊さを実感しました。これからは核兵器のない二十一世紀を合言葉に平和を叫びたいと思います。

この派遣事業は、平和学習だけでなく、各都道府県からの人との交流会などがありました。交流会をもつてくれたことで、私も宮城県に友達ができました。自分たちの住んでいる所は、どんな所なのかとか、たくさん教え合いたいと思います。

この事業を通して私は、少し成長した気がします。いろんな意味で貴重な体験が出来ました。どうもありがとうございました。

# フォトニュース



## 環境浄化は任せて

「くすーよー今日うがなびら」  
 知名ヨシ子副会長の言葉で、老人クラブ大会が開催された。  
 比嘉秀夫会長は、「今年も健康・友愛・奉仕の三大運動に力を入れたい」とあいさつの後、平成十三年度に功績のあった個人等を表彰しました。  
 引き続きレク大会が行われ、真栄城千代子レク部長は「若衆、若乙女を見てください。はりきって頑張ります」と話し、古典部の「かぎやで風」により幕を開けました。

活力ある婦人として豊かな教養を身に付け、家庭生活と社会生活の向上に役立てようと、八月一日から十五日まで婦人学級が開設されました。開級式では、学習テーマを事前に知り、課題をもって参加することや、学習したことを地域や家庭教育に活かすことなど学級生としての心得が確認された。

初日の講座「EMボカシ作り」は家庭の台所をあずかることの多い婦人ならではのテーマで、約七十名が参加した。喜屋武千枝会長は「環境面において、より住みよい村になれば」と話した。



## 老々大会・レク大会

「くすーよー今日うがなびら」  
 知名ヨシ子副会長の言葉で、老人クラブ大会が開催された。  
 比嘉秀夫会長は、「今年も健康・友愛・奉仕の三大運動に力を入れたい」とあいさつの後、平成十三年度に功績のあった個人等を表彰しました。  
 引き続きレク大会が行われ、真栄城千代子レク部長は「若衆、若乙女を見てください。はりきって頑張ります」と話し、古典部の「かぎやで風」により幕を開けました。

## 「IT」を学ぶ

すべての県民が「IT」に十分対応できるよう県及び市町村ではIT講習会を開催しています。  
 中城村においても、七月三日から開始され十二月八日まで三十五講座七〇〇名が無料で受講できるようにしている。  
 パソコンの基本操作からインターネットや電子メールの利用などの技能を十二時間程度で行っています。



## 子供と老人がふれあう

お年よりのふれあう機会が少なくなっている中で、子供と老人が集い、手工芸や玩具作りを通してふれあい、世代を超えた交流を図ろうと平成十三年度の「子供と老人のふれあいの集い」が八月二十四日、世界遺産「中城城跡」で行われました。

ふれあいの集いには、村内の小學生約七〇人が参加。老人クラブの方々とソテツの葉を使った虫かごや風車などを作りました。

また、ぐすく案内人の比嘉英信さん、百名一子さんの説明による中城城跡の見学もしました。



## 優勝を報告

少年野球の中城ドラゴンズが、第四回ゆんたんざ杯と第一回中城ブロック（中城・西原・北中城）五年生以下の大会で優勝。二本の優勝旗を手に入れた。新垣村長は「体と心を鍛え、積極的に行動し今度は沖繩一を目指してください」と選手達を激励した。

比嘉健一監督は「子供達は力はあるが発揮できなかった。来年は九州大会出場を目指し頑張ります」と意気込んでいます。

